

## 【ホームページのご案内】

🔍 「つなぐねっとおおさか」または「母子施設部会」で検索！

### 1、つなぐねっとおおさか

困りごとを抱えている方への支援情報を紹介しています。  
スマホからも見ることができます。

HP <https://www.osakafusyakyo.or.jp/boshishisetsubukai/johosite/>



### 2、大阪府社会福祉協議会 母子施設部会HP

大阪府内の母子生活支援施設の情報や空き状況を掲載しています。  
気になることはQ&Aのページで確認できます。

HP <https://www.osakafusyakyo.or.jp/boshishisetsubukai/>



### 3、利用ナビ（データ）を送付できます。

大阪府下の母子生活支援施設の情報をまとめた資料です。7施設分の情報がまとまっているため、入所を検討される際の施設選択にご活用いただけます。

福祉事務所の相談窓口相談者の方が来園された際の説明用資料としてもご活用いただけます。  
施設入所後の生活がイメージしやすいよう、外観や居室の写真や周辺地図、施設の特徴やPR、貸出物品一覧などが掲載されています。

(※施設の特性上、利用ナビは担当者の方の説明用資料としてのみご活用していただき、相談者の方の自由閲覧ではなく必ず担当者の方同席の上でご覧ください。また、複製・写真撮影・福祉事務所外への持ち出しも不可となっております。)

ご希望の方には利用ナビのデータを送付いたしますので、下記までご連絡ください。

母子施設部会事務局：社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 施設福祉部  
✉ [boshi@osakafusyakyo.or.jp](mailto:boshi@osakafusyakyo.or.jp)

## ♪編集後記♪

リアン東さくら 少年指導員

今年度も「魁PRESS」をお読みいただきありがとうございます。  
インフレによる様々な物品の価格高騰や戦争による原油高など、お財布が苦しい世の中ですがいかがお過ごしでしょうか。

私はハンバーガーの値段の15年前との違いに驚いております。

さて、リアン東さくらでは、不登校引きこもり支援として中高生の居場所「リアンラボ」の活動をしています。今回はサモエドカフェに行ってきました！大きなわんちゃんがみんな

元気ままにのんびりと過ごしていて子ども達も癒されたようです。リアンラボでは子どもたちが外に出るきっかけや人との関わりへの自信をつける機会になり、少しずつ脱引きこもりできている児童も増えています。小学生から不登校支援しながら関わってきた子ども達が高校や大学へ毎日通っている姿を見ると嬉しいものです。私自身が仕事へのやりがいを感じることもつてもあります。



発行所

〒542-0065 大阪府大阪市中央区中寺1-1-54

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 母子施設部会

TEL 06-6762-9001 ✉ [boshi@osakafusyakyo.or.jp](mailto:boshi@osakafusyakyo.or.jp)

HP <http://www.osakafusyakyo.or.jp/boshishisetsubukai/>



さきがけぶれす  
**魁PRESS**

～ 大阪の母子生活支援施設についてお届けします ～

2026. 8 No.008

## 切れ目のない支援の実現を目指して

近年、子育てを取り巻く環境は大きく変化し、子育ての不安や生活上の困難を抱えるご家庭は少なくありません。母子生活支援施設は、そうした状況にある母と子がともに安心して生活しながら、次の一歩を踏み出すための支援を行っています。その支えの3つの柱として、「産前・産後支援」「アフターケアを含む地域支援」「家族関係構築支援」があり、切れ目のない関わりを大切にしています。

また、施設の中での支援に加え、地域の子育て家庭や妊産婦、困りごとを抱える女性の方々への支援にも力を広げています。母子生活支援施設は、地域の中で「困ったときに頼れる場所」として、関係機関の皆さまと連携しながら支援を行う拠点でありたいと考えています。

一方で、母子生活支援施設について、「DV被害者だけが利用する場所」といったイメージを持たれている場合もあります。しかし実際には、さまざまな事情で生活や子育てに困難を感じている方々が利用されており、「早い段階から支え、安心して生活を立て直すための場所」としての役割を担っています。

必要な方に必要な支援を届けるためには、私たち自身が施設の役割や活動を丁寧にお伝えしていくことが大切だと感じています。『魁press』がそのきっかけとなり、母子生活支援施設への理解が少しでも広がれば大変嬉しく思います。

母子生活支援施設は、母と子が安心して過ごし、生活を整え、未来へ向かって歩いていくための場です。そして退所後も「いつでも戻ってこられる場所」として関わり続ける存在でもあります。これからも地域の皆さまや関係機関の皆さまとともに、一つひとつの支援を大切に積み重ねてまいります。

本誌をご覧いただくことで、母子生活支援施設の取り組みを身近に感じていただけたら幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 母子施設部会 部会長 荒井 恵一

## 福祉事務所等職員との協働勉強会開催のお知らせ

令和8年11月2日（月）に、福祉事務所等職員と施設職員との協働勉強会を、こども家庭庁の胡内氏を講師に迎えて開催する予定です。（主催：近畿母子生活支援施設協議会、大阪府社会福祉協議会 母子施設部会）

社会の中でより多く、支援を必要とする方々に様々な支援が届くよう、地域の福祉事務所職員や行政関係者、施設職員等の方々が顔の見える関係性を構築できればと考えています。

勉強会の詳細は、後日ご案内させていただきます。

ぜひこの機会に、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。





## こんなことで困っていませんか？

(以前、福祉事務所へ訪問した時に  
実際にあった質問です)



Q1：DV被害者以外の方も入居は可能ですか？

A：生活困窮の方、養育不安の方でも入居は可能です。



Q2：中高生男児の入居は可能ですか？

A：居室空間に限りはありますが、大歓迎です。各施設によって居室の間取りが異なりますので、事前に見学にお越しいただくことをお勧めしています。



Q3：入居後はどのような支援を受けることができますか？

A：生活支援全般です。詳細は以下の通りです



### 大阪の 母子生活支援施設

退所後の支援

子育て支援

(日々の相談、補完保育支援)

性・生教育  
(ソーシャルスキル講座)

妊産婦支援

(日々の相談、離乳食づくり支援)

法律相談

(関係機関への連絡・同行)

家事支援

(モーニングコール、居室清掃支援)

家計管理  
貯金管理支援

医療支援

(服薬管理、通院同行)

心理支援



就労支援

(ハローワーク同行、  
履歴書記入支援)

Q4：障がいの等級は入居に関係ありますか？

A：障がいの等級で入居の可否は決めていません。しかし、入居中はヘルパー利用ができないので、基本は自活(ある程度自分で身の回りの世話)ができることが前提となりますが、様々な生活支援(病院同行・書類記入支援・手帳の申請等)は行います。

Q5：障がい者に対する支援はありますか？

A：お母さんと話し合いながらどのような支援が必要か明らかにし、社会資源(家計管理支援・訪問看護・作業所等)につなげていきます。安心サポート事業(日常生活自立援助支援)を利用される方もいます。



Q6：アフターケアはどのようなことをしていますか？

A：退去後も、電話や来園等によって施設に相談できることなどを説明し、それぞれの状況やニーズに応じて必要な支援を行っています。

また、施設によっては、退居後に集える居場所づくりや学習支援事業としての活動も行っています。



Q7：見学は、お母さん一人でもいいのですか？

A：できるだけ福祉事務所の方と一緒に来ていただきたいのですが、どうしてもという場合は、事前に相談いただければ可能です。

Q8：見学に行けない場合でも入居は可能ですか？

A：見学がなくても入居は可能ですが、できる限り見学していただくことをお勧めしています。見学により、お母さんやお子さん自身の納得度を高めてから入居をお勧めします。

Q9：大阪市内の施設利用について相談したい

A：大阪市こども青少年局が窓口です。

TEL：06-6208-8356

